

対象年度		令和 3年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート										
事務事業名		地方創生IT化推進事業(地方創生)						予算事業名		地方創生 I T 化推進事業費				
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令					
				02	01	07	7006	政策経費						
総合計画体系		3歴史と自然を育む活力あるまちづくり(産業)						事業の区分		主要事業				
		3-3活気にあふれた商業の振興(商業)												
		④中心市街地の活性化												
		1中心市街地活性化事業						担当課係等		企画政策課 政策推進係				
事業期間		継続(平成28年度～令和 3年度)												
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】							
I T 知識にたけた個人商店主を増やすことにより、インターネット販売など時代に合った流通が実現できる。コワーキングスペースの整備により、商店主の交流が盛んとなり、相乗効果が期待できる。							国の地方創生事業の一環として、しごと創生という分野があり、I T 企業大手から、本市の稼ぐ力の可能性についてアドバイスを受け、交付金事業を活用しながら事業を開始することとなった。							
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】							【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】							
本市の地方創生に貢献するIT人材の育成及びIT技術の普及を推進するため、育成講座を開設する。 また受講者の起業やさらなる能力向上を支援するため、コワーキングスペースを整備し、人的交流を促す。 この取り組みに連動し、株式会社TMO結城の地域商社化を推進し、地域資源のブランド化やインターネット販売などに取り組み、技術習得者の雇用の受け入れや、地域経済の活力創出に貢献する。							市民に対し、I T 時代に即した能力取得の機会を提供し、若者起業の支援と女性の活躍を促す。							
							【事業をとりまく環境の変化】 事業の効果検証について有識者会議や議会に諮り1年ごとに見直すこととなっている。そのため、その検証の結果に応じて対応していく。							
【令和 3年度 事業内容】				【令和 4年度 事業内容】				【令和 5年度 事業内容】						
コワーキングスペース運営事業補助														

■事業費			R01年度	R02年度			
財 源 内 訳	国	庫 支 出 金	1,020	0			
	県	支 出 金	0	0			
	地	方 債	0	0			
	そ	の 他	0	0			
	一	般 財 源	4,022	800			
歳 入 計 (千 円)			5,042	800			
歳 出 内 訳	節 (番 号 + 名 称)		金額 (千円)	金額 (千円)			
	12	委託料	2,042	0			
	13	使用料及び賃借料	1,500	800			
	18	負担金補助及び交付金	1,500	0			
歳 出 計 (千 円) (A)			5,042	800			
伸 び 率 (%)				-84.13			
備 考	総合計画104ページ 予算書 4 2 ページ						

令和元年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R01年度	R02年度	R03年度
活動 指標	I T人材育成プログラム受講者数	人	目標	40.00	0.00	0.00
			実績	40.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標		人	目標	10.00	10.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	B どちらとも言えない	本市の課題である若年女性の流出を抑止するためには、柔軟な働き方に対応できる場づくりが必要である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	地方創生実現のため、行政が率先して新しい働き方の提案を行うべきと考えられる。
	手段の妥当性	A 妥当である	I T人材の育成のためにも必要な場づくりである。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	自立に向けた支援を行う必要がある。
公平性	受益者の偏り	B どちらとも言えない	
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	
進捗度	事業の進捗	C 遅れている	
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
近隣では先進事例としてコワーキングスペースの運営に取り組んだが、今後はyuinowaの運営主体である㈱TMO結城が自立運営できるよう支援していく。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			

■方向性

1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☒ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置
方向性の具体的内容 人口減少の抑制という地方創生の命題を実現させるために、本市での新しい仕事場を提案できるような具体的な施策を提案する必要がある。
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置
企画調整会議の意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。